

目標達成計画

作成日： 2025 年 2 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |                                                                                                              |                                                                                             |                                                                            |            |
|----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題                                                                                                 | 目標                                                                                          | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                                         | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 26   | 前年度より入居者個別に定期カンファレンスを1か月に1回開催できているが、カンファレンスでの意見があまり活発にされていない印象。参加者全員が意見でき、カンファレンス内容が日ごろのケアに反映されていない場面も見受けられる | 定期カンファレンス時は、参加者全員が意見を述べる事が出来、カンファレンス内容が日常のケアにしっかりと反映できる。またカンファレンス内容によってはしっかりと評価日を設け、評価していく。 | ・カンファレンスの定期開催<br>・カンファレンス内での意見<br>・カンファレンス内容が日ごろのケアに反映<br>・評価日を決め評価        | 12ヶ月       |
| 2        | 48   | コロナ禍後、地域との交流も再開しボランティアさんや近隣中学生などの来客も見られるようになり、外部の方が行き来し始めているが、入居者の方々が地域へ出向く場面がほとんどない状態である。                   | 外出企画やボランティアのさらなる活用、生活の中に楽しみが持てる日常が送れるよう支援できる。                                               | ・毎月ボランティアの活用ができる。<br>・定期的に外出の企画ができる。<br>・地域とのかかわりの検討が図れる                   | 12 ヶ月      |
| 3        | 52   | 共有スペースの展示物(食堂ウォールツリー)を季節ごとに入居者と一緒に更新するようになったが、行事の写真など掲示しても与いいのではと意見ありっ検討進める必要あり。                             | 共有スペースの展示物が定期的に更新でき、回覧しながら会話が盛り上がるような空間作りができる                                               | ・掲示物の更新<br>・行事の様子がわかる写真掲示<br>・入居者様作品作りを楽しみ、掲示できる<br>・定期的に食堂レイアウトの検討ができる    | 12ヶ月       |
| 4        | 13   | スタッフ教育の場面が不十分。学習の機会がほとんどなく、自己学習を促す機会もない状況                                                                    | 定期的に学習会の開催、介護観等の意見交換の場を設けられ、各自ケアに対するスキルアップが図れる                                              | ・定期的な学習会の開催<br>・介護観等日頃の想いを話せる意見交換の場の創出<br>・スタッフ教育に加え、面接が定期的に実施が行え個々に指導ができる | 12ヶ月       |
| 5        | 11   | 運営方針等、事業所理念など職場会議を通じ共有する時間は設けているが、経営改善改善に関してスタッフ一丸となれていない状況である。                                              | 事業所の運営状況がスタッフ皆把握できる。選ばれるサービスの必要性等理解ができ実践できる。<br>安定した経営状況を目指にスタッフ一丸となって行動ができる。               | ・運営状況の共有が図れる<br>・安定した経営基盤が築ける<br>・選ばれる、質の高いサービスの実践に向け検討実施ができる              | 12ヶ月       |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。  
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。